

定例会

9月1日から9月15日まで



クラブハウス建設工事契約の委員会付託省略の起立採決

議 会

No.203

平成29年9月第3回定例会が、9月1日から15日まで、15日間の会期で開かれました。今議会では、専決処分承認（1件）ほか、平成28年度決算（12件）、平成28年度補正予算案（12件）、条例案（6件）、事件案（2件）、請願（2件）、陳情（1件）の審議、及び人事案（2件）への同意を行いました。

平成28年度決算審査及び 平成29年度補正予算審査

初日の本会議で、渡邊吉基代表監査委員から「平成28年度一般会計及び特別会計」計12会計の決算に対する監査報告がありました。

全議員による「予算決算常任委員会」（江田宏子委員長）が3日間の日程で開かれ、審査の結果、最終日の本会議において、決算については、賛成多数で全会計を認定、補正予算については、「一般会計補正予算（第4号）」を修正可決、そのほかの11件は原案可決でした。

また、14項目の審査意見をまとめました。
(28ページ)



自然劇場

議会に対するご意見
をお聞かせください。

お電話の場合

☎ 82-3111 (内線 150 番)

E-mailの場合

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

平成29年9月第3回定例会のあらまし

▼開会日（9月1日）

会期の決定、村長からの行政報告の後、専決処分（1件）の承認を行いました。また、条例案・補正予算案・28年度決算の認定案が上程され、提案理由の説明、質疑等を経て、請願2件、陳情1件とともに、所管の委員会へ付託しました。

▼予算決算常任委員会 （9月5日・6日・7日）

平成28年度決算及び平成29年度補正予算、事業の進捗状況について、各課から説明を受け、質疑、審議等を行いました。

▼一般質問（9月12日）

8人の議員が、村政のさまざまな課題について質問しました。
(各議員の質問項目は29ページ)

▼常任委員会（9月13日）

各委員会で、付託された条例案、事件案、請願・陳情等を審議しました。

▼全員協議会（9月1日・8日・15日）

村から議会への事業等の説明・報告及び質疑のほか、議員間での連絡・報告・協議等を行いました。

▼閉会日・採決（9月15日）

本会議において、各委員長から付託議案等の委員会審査の報告を行い、採決。また、同意案件（人事）2件が上程され、採決の結果、一般会計補正予算（第4号）は修正可決、その他は、全て原案のとおり可決、認定、同意となりました。

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会



決算の監査報告をする渡邊吉基代表監査委員

平成29年9月 第3回

平成28年度決算など38議案を審議

決算に対する監査からの意見

(9月1日本会議「監査報告」より主旨抜粋)

- 職員の労働衛生に関しては、体制は整備されているが、代休の取得や年次有給休暇の消化率については、十分に掌握されているとは言えない。職場環境の実態把握に努め、職員が安心して健康で働くことができるような職場となるよう実効性の向上に努められたい。
- 職員等からの公益通報の処理に関する規定では、総務課に窓口が設けられているが、職員に周知されているとは言えないので、周知徹底されたい。
- 村税の不納欠損の要因を再検証し、税負担の公平を欠くことのないよう努められたい。
- 村税及び料金等における滞納金の徴収にあたっては、引き続き全力で徴収に努められたい。
- 国民健康保険特別会計の安定した会計運営を進めるには、被保険者の健康管理に意を注ぎ、健康管理健診の受診率の更なる向上と病気予防対策に積極的に取組まれたい。
- 農業後継者等育成奨励金交付要綱では、奨励金交付後の農業経営の状況についての把握がなされていないので、要綱の改正等も含め、奨励金交付後の5年間の農業経営の状況を把握されたい。
- 観光施設特別会計でリフト使用料を毎年100万円、契約に基づき木島平観光(株)から受領しているが、使用料の算出根拠が適正か否かについて、次の契約締結までに精査されたい。
- 除雪損傷の復旧工事については、箇所の把握、工事着工、進捗状況、工事完了まで、台帳等によって一元的な管理を行うとともに、早期の工事完了に努められたい。

承認。損害賠償の額を定める専決処分を承認。

承認

1件

■物損事故

・いこいのフレンズにて草刈り作業中、草刈機で弾いた小石により、隣接住宅の窓ガラスを破損したため、修理費を賠償。
(約2万9千円)

条例

6件

6件とも条例の一部改正。すべて全会一致で原案可決。

■福祉医療給付金条例

・現在、乳幼児及び児童等が医療機関で受診した際、当事者が医療費を支払い、後日、村へ申請して医療費の給付を受ける手続きとなっているが、村が医療機関へ直接支払うよう変更する。

この改正は、全県統一して行う。施行日は、平成30年8月1日。

■自然保護条例

・太陽光等「自然エネルギー発電設備の設置等」について、自然休養地並びに住宅地等で行う開発行為の基準を定める。

■郷の家条例

- ・使用料を改正する条例。
(26ページ、「6月議会の審査意見」に対する村の対応参照)

■地域優良賃貸住宅管理条例

■賃貸集合住宅条例

- ・2件ともに、国の制度改正に合わせた改正。
生計の中心となる者の年齢制限を廃止、婚姻後5年以内の新婚世帯を追加する等。

■田舎暮らし体験住宅設置条例

- ・昨年建設した庚地区の設置条例に、現在大町地区に建設している同居居を追加する。

補正予算

12件

一般会計は、修正可決、特別会計ほかは、すべて原案可決。

■一般会計(第4号)

※歳出項目の1万円未満四捨五入

補正額 2168万3千円追加。

(予算総額 34億242万円)

修正により、

補正額 2054万6千円追加。

(予算総額 34億128万円に修正して可決)

歳入

- ・分担金や寄附金、諸収入のほか、平成28年度決算の繰越金、国県支出金等の決定に伴う基金からの繰入金、過疎債、臨時財政対策債など。

歳出

- ・糠千地区の旧わかき保育園老朽化に伴う解体工事費。(439万円)
- ・マイナンバーカードに旧姓、ローマ字表記ができるようにするためのシステム改修費。(82万円)
- ・青年就農給付金1人分(150万円)減、農業後継者奨励補助金1人分(100万円)の差額。(△50万円)

- ・農の拠点施設の雨水排水処理のための修繕。(18万円)

- ・有機センターにあるタイヤドザー予備車の修繕費。(44万円)

- ・ふるさと納税推進事業の一部を産業ネットワークに委託するための経費。(委託費138万7千円を臨時職員賃金25万円に修正して可決。)

(修正理由等は左ページ)

- ・森林整備地域活動支援交付金事業の施業面積の増。(31万円)
- (県交付金も増⇨補助率75%)

- ・大町地区に建設している田舎暮らし体験住宅への電気等の引込柱工事。(39万円)

- ・やまびこの丘公園管理棟周辺雨水排水処理。(68万円)

- ・郷の家かやぶき屋根ふき替え経費算出の委託費。(15万円)

- ・河川内支障木伐採の委託費。(47万円)

- ・中古住宅取得補助金1棟分増。(55万円)

- ・西小路地区に建設する村営住宅の位置決定に伴う下水道等の移転工事。(57万円・国)
- 社会資本整備総合交付金は、交付決定額により減。(△701万円)

- ・飯山消防署野沢分署のポンプ車更新に伴う負担金。(612万円)

- ・消防団ラッパ隊の県大会出場に伴う経費。(24万円)

- ・消防団安全装備補助事業として採択されたヘッドランプの購入。(49万円)

- ・庚地区の消火栓設置場所変更に伴う工事費。(27万円)

- ・小学校グラウンド周辺の石積みの補修工事費。(419万円)

- ・6月の強風により破損した村体育館の屋根の修繕費。(132万円)
- 建物災害共済金から半額を見込み、社会資本整備総合交付金(国)、住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(県)は、決定額に合わせて減。

- ・豪雨により被災した剣立地区の農地の復旧費。(115万円)
- (うち県の補助金50万円、地元分担金13万円。)

ほか

■情報通信特別会計(第1号)

補正額 歳入歳出の増減なし。

内容 前年度会計の繰越金の

確定に伴い、一般会計の繰入金を減。

■学校給食特別会計(第1号)

内容 前年度の繰越金を予備費に計上。

補正額 92万4千円追加。

(予算総額 2269万円)

■奨学資金貸付事業特別会計(第1号)

内容 前年度の繰越金を一般会計へ繰出し。

補正額 55万5千円追加。

(予算総額 848万円)

■後期高齢者医療特別会計(第2号)

内容 後期高齢者医療広域連合納付金を増額。

補正額 142万8千円追加。

(予算総額 5482万円)

財源 前年度繰越金。

■国民健康保険特別会計(第2号)

内容 後期高齢者支援金及び前年度療養給付費の精算による国保国庫負担金返還金等を増額。

補正額 786万4千円追加。

(予算総額 6億8298万円)

財源 前年度繰越金と国民健康保険基金繰入金。

■介護保険特別会計(第2号)

内容 地域密着型介護予防サービス給付費、介護保険支払準備基金積立金、前年度介護給付費の精算による返還額を計上。

補正額 1668万3千円追加。

(予算総額 5億9775万円)

財源 介護給付費増額による国庫負担金及び支払基金交付金の増のほか、前年度繰越金。

■観光施設特別会計(第2号)

内容 索道設備の保守点検、ホテルシュートネスベルクのエレベーター制御盤取替工事費等。

補正額 84万4千円追加。

(予算総額 1億3291万円)

財源 一般会計繰入金。

■下水道特別会計(第1号)

内容 前年度の繰越金の確定に伴い、一般会計の繰入金を14万5千円増額。

補正額 歳入歳出の増減なし。

■農業集落排水事業特別会計(第1号)

歳入 クリーンピア糠千敷地内の支障木伐採委託料。

歳出 前年度繰越金を4万9千円増額、一般会計繰出し金を2万7千円減額。

補正額 2万2千円追加。

(予算総額 1953万円)

■高社簡易水道特別会計(第1号)

内容 高社配水池のテレメータ修繕費130万円、積立金21万円増。

補正額 151万円追加。

(予算総額 1343万円)

財源 前年度の繰越金。

■水道事業会計(第2号)

内容 賠償責任保険に新たに加入する経費、庚地区消火栓設置位置の変更に伴う工事費の増。

補正額 41万6千円追加。

(予算総額 1億1832万円)

修正の内容

・ふるさと納税推進事業の一部を産業ネットワーク協議会に委託するための経費。

【歳入】

基金繰入金 299万1千円(減額)

修正後 185万4千円

【歳出】

ふるさと納税推進事業事務

取扱委託料 138万7千円(削除)

ふるさと納税推進事業事務

補助臨時職員 25万円(追加)

修正の理由及び算出根拠

産業ネットワーク協議会は、組織体制が確立されておらず、ふるさと納税事務を委託することは適切でない。

担当する事務補助臨時職員賃金は必要と判断し、次の額に修正する。

算出根拠

(時給) 800円 × 6時間労働 × 週2日勤務 × 26週(半年間)
= 24万9,600円 (25万円) 千円未満繰上げ

この修正により、

補正額	【修正前】 2,168万3千円
	【修正後】 2,054万6千円
補正額	【修正前】 34億242万4千円
補正額	【修正後】 34億128万7千円

となる。



事件 2件

ともに全会一致で可決

■平成28年度水道事業会計
未処分利益剰余金の処分

水道事業会計の未処分利益剰余金の処分方法について議会の議決を求めるもの。

未処分利益剰余金

2536万3千円のうち、1200万円を減債積立金に、1200万円を建設改良積立金に積立て、残額を繰越す。

■村道路線の認定

木島平村道732号線
県道飯山野沢温泉線「戸那子バイパス」開通により、旧道を村道とするもの。

延長 196.6m

幅員 5.5m～13.0m

人事 2件

ともに全会一致で同意

■教育委員会委員の任命

・任命者の氏名

本山三智子氏

■固定資産評価審査委員会委員の選任

・選任者の氏名

宮崎光雄氏

請願・陳情 3件

3件とも全会一致で採択、国へ意見書を提出

請願

■国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願

■義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

陳情

■「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情



「平成29年6月議会の審査意見」に対する村の対応 (主旨抜粋)

(9月1日 本会議「諸般の報告」より)

総務産業常任委員会関係

- 「郷の家」の使用料は、村内外の区分、営業目的等も考慮した料金設定を検討されたい。

対応 半日2,000円・1日4,000円を、半日6,000円・1日10,000円に。
周知期間が必要なため、施行は平成30年1月1日からを予定。

予算決算常任委員会関係

- 新たな「地域おこし協力隊員」の募集・選任には、村に残ってもらえるような構想で取り組まれない。

対応 退任後、村で定住できるよう就業や住居等について、協力隊員としての任期中から調整する。

- 「郷の家」については、将来的な維持管理費用や費用対効果などを早めに試算し、民間への売却や譲渡の道を探るなど、早期に方針を示されたい。

対応 木島平観光(株)と管理委託契約を締結し、観光施設としての需要の動向を探っている。
補正予算に、維持管理費を試算するための調査費を計上しており、それらも参考に本年中に方向性を示したい。

- 「サロン開設支援事業」は、介護予防対策として有効であり、開設に向け積極的に働きかけをされたい。

対応 介護予防対策として、積極的に働きかける。

- 「保育園」は、職員数が多い。園児の安全確保等、職員間での連携を密にし、職員管理を徹底されたい。

対応 保育園職員会で、職員間の連携の徹底を再確認するとともに、従来に増して管理職職員の巡視を行い、職員管理の徹底を図る。

全員協議会

村と議会、及び議員間で協議等をした主な項目は、次のとおりです。

8月21日(月)

【村長提出案件】

- ・クラブハウス建築に係る基礎工事の増工等について

(詳細は28ページ)

- ・産業ネットワーク協議会へのふるさと納税事業委託及び事務局職員の雇用について

(9月定例会で)

- ・道の新駅ファームス木島平利活用検討会議の進捗状況について

【議員のみ】

- ・自然保護審議会委員の推薦について

9月1日(金)

【村長提出案件】

- ・村道の認定について

【議員のみ】

- ・議会国内視察研修について
- ・イベント体験研修について

- ① 西東京市民まつり
- ② 調布市農業まつり

9月8日(金)

【議員のみ】

- ・木島平観光(株)から経営状況の報告

- ・木島平村農業振興公社の経営状況の報告

- ・長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会へ提出する村議会からの要望事項について

9月15日(金)

【村長提出案件】

- ・教育委員会委員の任命について

- ・固定資産評価審査委員会委員の選任について

- ・戸立岩砂防堰堤工事について
- ・中学校ルクセンブルク訪問交流について

【議員のみ】

- ・国内視察研修について
- ・10月の全員協議会の日程調整
- ・平成29年12月第4回議会定例会日程案について

- ・イベント体験研修への参加議員について

【28年度決算に対する討論】 (主旨抜粋)

反対討論：樋口 勝豊 議員

本決算の新規事業や医療福祉など、全体的には評価しているが、民生費の同和関係予算、村解放同盟と中高地区協議会への補助など、同和関連決算は見過ごすことができない。

国の同和対策特別事業は2002年3月に終結し、社会問題としての部落問題は基本的に解決された到達点にある。国民の多くが日常生活で部落問題に直面することはほとんどなくなっている。

しかし昨年12月、自民、公明、維新などが「部落差別解消推進法」を提案してきた。実際は「部落差別永久化法」であり、差別を永続させるものである。

自治体に残る同和行政、同和教育の「特別扱い」は終わらせることが求められていることを指摘し、反対討論とする。

承認討論：土屋 喜久夫 議員

平成28年度決算は、緊迫する財政状況の中、1億3千万余の基金の取り崩しにより結了されており、目前に役場庁舎の建設等、さらに基金の減額要素を含む決算となっている。

新たな施策の展開を前にし、喫緊の課題として比率が増大する経常経費の削減が大きな課題でもある。今後20年を見越した公共施設等総合管理計画では、現状の維持管理に年間7億7千万円の費用が必要と試算されている。従来の方針、組織、村の関与等を再度点検し、真に村民の求める幸福追求のため、取捨選択を進めなければならない。

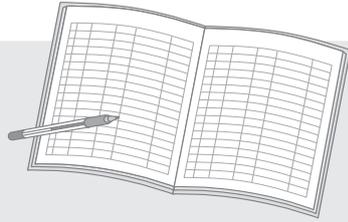
建設が予定されている役場庁舎は、本年度中の基本計画の提示、村民意見のくみ上げなど、多忙を極めるが、今後、まずないであろう大事業でもある。村民から預かっている貴重な財産を有効活用し、村内に残せるのか、手腕の示しどころでもある。

金のないときは、知恵で勝負。日墓村長のもと、明るく健康で優秀な職員とともに、全ての政策を公開し、アイデアを村民に頼ることも必要であろう。全村民が手を携え、村の発展を目指すことが肝要と考える。

公に携わる者は、最後の砦の公助であることを忘れず、村民の幸福を追求すべき宿命である。

平成28年度決算が、村民福祉、幸福追求となることを確信し、決算を承認する。

審査意見



予算決算常任委員会（14件）

- ①災害時、ふう太ネット等も活用し、住民への情報が伝わるよう、平時から備えられたい。
- ②大学連携については、過去の検証をし、有用なものについては、さらに発展されたい。わせだいらについては、村民との交流が進んでおり、さらに進展されるよう支援されたい。
- ③公式ウェブサイトについては、内容を再点検し、常に最新の情報を提供できるよう努力されたい。
- ④協働の村づくり支援金については、必要に応じて事業が継続できるようなサポートをされたい。
- ⑤防犯カメラについては、設置個所を再点検し、関係機関と有効な場所を検討されたい。
- ⑥ふるさと応援団については、公式ウェブサイトへの掲載などあらゆる手段を講じて新規会員の勧誘に努められたい。
- ⑦平成28年度、福寿苑の利用者がなかったが、各種福祉施策などニーズの掘り起こしをされたい。
- ⑧高齢者通院助成制度が無くなったが、介助等が必要な弱者に対する通院等のサービスが低下しないよう配慮されたい。
- ⑨老人福祉バスの利用率が低下している。高齢者の外出支援に向け、利用の促進を図られたい。
- ⑩国道道の改良期成同盟会については、将来の維持管理も見据え、継続に向け協議されたい。
- ⑪公営住宅は、実情に応じて家賃設定の弾力化を検討されたい。
- ⑫加速化交付金の事業については、その投資効果が見られない事業がある。今後の事業展開については実績を検証し、補助または委託先について慎重に選定されたい。
- ⑬6次産業推進協議会に多額の補助をして、商品の研究開発がされたが、未だに商品として日の目を見ていない。早急に商品化を図られたい。
- ⑭大町倉庫の老朽化が著しい。倉庫内の民俗資料の活用や保管方法を早急に検討されたい。

平成29年8月 第3回臨時会（8月21日）

補正予算

1件

■一般会計（第3号）

内 容

「クラブハウスの建設」（前年度の繰越事業）をクロスカントリー競技場管理棟の隣に予定しているが、調査の結果、地盤が弱いため、基礎杭工事が必要となった。また、建設場所にあるコンテナハウスを移設するための経費の増。

補正額

332万円追加
（予算総額 33億8074万円）

財 源

財政調整基金からの繰入金

平成29年10月 第4回臨時会（10月2日）

補正予算

1件

■一般会計（第5号）

内 容

衆議院議員選挙費。

補正額

500万円追加
（予算総額 34億629万円）

財 源

県からの委託金

常任委員会

総務産業常任委員会 (2件)

- ①各種事業推進に当たっては、補正がないよう計画的な予算計上に努められたい。
- ②DMO（観光地域づくり）推進に当たっては、目的達成に向け、村民理解を得られるような組織体制を構築されたい。

民生文教常任委員会 (4件)

- ①新生児の聴覚検査料の全額国費負担について、交付税措置もあることから、早急に制度を確立されたい。
- ②再三審査意見を上げているが、可決前に補正予算を執行することのないよう、当初予算の段階から慎重な予算要求をされたい。
- ③本年度延期された通学合宿の実施方法を精査し、確実な実行体制を確立されたい。
- ④放課後子ども教室での学習支援については、全児童への公平性を保たれたい。

各議員の一般質問の項目

9月12日、8人の議員が次の課題について質問しました。

◆勝山 卓 議員

- ①公会計改革について
- ②職員の労務管理について

◆吉川 昭 議員

- ①遊休荒廃地対策の蕎麦生産。状況と展望について
- ②長野県の農業農村総生産額と村内の農業総生産額について
- ③木島平村に来村される方に声掛けを

◆樋口 勝豊 議員

- ①全国学力テストの見直しを
- ②教員の長時間労働を是正せよ
- ③小学校の英語教育は問題である

◆勝山 正 議員

- ①産業ネットワーク協議会について

◆滝沢 光平 議員

- ①公共施設等総合管理計画について

◆土屋 喜久夫 議員

- ①人権施策の推進について
- ②農業振興について
- ③再度、継続できる福祉施策は整っているか

◆萩原 由一 議員

- ①電力の自由化について
- ②村区長会長の職務の軽減を
- ③災害時の要支援者の避難について
- ④庁舎建設に当たり村民意見の聴取は

◆江田 宏子 議員

- ①実践的な災害時訓練に向けて
- ②高校再編に対する村の対応について
- ③教育長として1年経過しての考えについて
- ④働きやすい職場環境を目指して

質問・答弁の主旨は、議会だより11月号に掲載いたします